

# オリーブの会通信

2017年6月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会  
〒760-0043 高松市今新町4番地20  
連絡先 TEL 087-802-2568  
<http://khj-olve.com/> (隔月発行移行後13号)



新年度に入り早2か月が経ちました。少しずつ汗ばむ日も増えてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。くれぐれもご自愛の程お祈り致します。

さて、今年度は、高松市から昨年度に続き受託する「ひきこもり相談窓口業務」に加え、「ひきこもり当事者傾聴サロン」業務を新たに受託しました。当事者の方々の積極的なご参加をお待ちしております。今後、当会は、益々、行政等との連携を密にしながら各種事業を推し進めて参りますので、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 第180回月例会ご案内

日 時	2017年6月25日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel:087-867-7686

内 容	<p>☆一部  13:30～ 会からの諸報告  13:35～ DVD鑑賞  タイトル：「私がひきこもった理由」  — 回復へのヒントを探る —  「我が子がひきこもったとき」  — 家族の役割と支援 —  「あなたは一人じゃない」  — 様々な支援の形・地域編 —  ・上記3部作から選定します。  (NHK 厚生文化事業団が今年4月に製作)  ・DVD制作の監修者  精神科医 中垣内 正和氏 精神科医 齋藤 環氏</p> <p>15:00～ 休憩  ☆二部  15:15～16:30 グループ別 話し合い</p>
参加費	<p>会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円</p>

## 第181回月例会ご案内

日 時	<p>2017年7月23日(日) 13:30～16:30 (受付:13:00～)</p>
場 所	<p>香川県社会福祉総合センター  6階 第1・第2研修室  〒760-8057 高松市番町1丁目10-35 Tel:087-835-3334</p>
内 容	<p>☆一部  13:30～ 会からの諸報告  13:35～15:00 講演  「輝ける闇」  講師:山田 孝明氏 (京都オレンジ家族の会世話人代表)  近刊の著作:「輝ける闇の光の中で」</p> <p>15:00～15:15 休憩</p>

	<b>☆二部</b> <b>15:15～16:30 グループ別 話し合い</b>
<b>参加費</b>	<b>会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円</b>

(注) 先約者があり、かがわ総合リハビリテーションセンター が使えません。

## 第178回月例会・総会（4月30日）の概要

新しく月例会の主会場となった「かがわ総合リハビリテーションセンター」で初の月例会（定時総会を組み入れ）を開催しました。

当日は、ご来賓として都築県議と春田高松市議、また行政機関（4名）に加え、当会員25名、ポパイ3名の総勢34名の出席を得て、平野代表理事の司会進行で会が開かれました。

最初に、松本代表理事より諸報告があった後、

上原氏（香川県障害福祉課）からは、「ひきこもりに関するアンケート調査結果について」の報告がありました。

今回の調査は、「本人及び家族の状況」「日常生活の過ごし方・外出状況」「こころの健康状況」「相談機関の利用状況」「今困っていることと期待する支援内容」の5項目についてお訊ねしたところ、71名から回答を得られた。その中で、特に、本人が困っていることでは、「就職仕事のこと」「経済的なこと」「人付き合いや友人関係」「健康問題」であり、また、本人が望んでいる支援で最も多かったのは、「メンタルフレンド」次いで「働く場所」「就労訓練」「フリースペースなどの居場所」であった。今後、これらの結果を踏まえ、ひきこもり支援の各種施策を推進してまいります。

細谷氏（香川県ひきこもり地域支援センター「アンダンテ」）からは、昨年と同じ3名体制で、当事者集団活動等の活動に積極的に取り組みます。

三浦氏（香川県障害福祉課課長補佐）からは、初めての任務ではあるが、前任者からの引継事項を踏まえ、ひきこもりサポーターの活用方を市町村に積極的に働きかけていきたい。

宇野氏（高松市保健センター）からは、新年度事業の「ひきこもり当事者傾聴サロン」について説明された。

傾聴サロンは、昨年度から実施している「ひきこもり相談窓口」に相談することから始まることになっている。相談窓口を積極的に活用され、傾聴ピアサポーターとサロンを活用して仲間同志で支え合い、自信と関係性の回復に役立てて欲しい。

特に、皆さんには、ゲートキーパー（注）の基本である「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」の4つの言葉を大切にしていきたい。

（注）「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声かけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

続いて、ご来賓の、都築香川県議会議員からは「共に意見交換しながら長期的に焦らず支援していきたい」、春田高松市議会議員からは「行政とのつなぎ役として連携してひきこもり問題の解決に汗をかいていきたい」との、力強いメッセージを頂いた。


その後、通常総会が開催されました。

最初に、総会は定数の過半数以上（委任状含む）の出席があり、成立していることを平野代表理事から報告があり、次に、松本代表理事から、オリーブの会は、今年で発足 15 年、NPO 法人化 10 年の大事な節目を迎えることとなった。これからも会員の皆さん共に行政の支援も得ながら更に成長していきたい。特に、2016 年度は、香川県から継続受注の「ひきこもりサポーターフォローアップ研修以外に「若年層ひきこもり相談窓口業務」を初めて高松市から受託でき、待望されていたひきこもりサポーターの活躍で所期の目的を果たすことが出来たほか、多方面で従来に劣らない活動展開ができた。旨の挨拶がなされた。

続いて、議長に松本代表理事が選出され、議事の進行がなされ、第 1 号議案「2016 年度事業報告、第 2 号議案「2016 年度決算報告及び監査報告」、第 3 号議案「2017 年度事業計画(案)」、第 4 号議案「2017 年度活動予算(案)」、第 5 号議案「理事(役員)改選」について提案され、審議の結果、原案通り全てが承認決議されました。

最後に、新年度の役員と運営委員（計 13 名）が紹介され、無事、総会は終了しました。

お知らせ

2017 年度、香川県共同募金会の赤い羽根募金の助成を受け居場所の開所回数の増大と活動の充実を図ることができることになりました。 

## 第 179 回月例会（5 月 28 日）の概要

◎ 松本代表からの諸報告

◎ 講演 演題は、『ひきこもり経験を通して感じる支援のあり方』

講師 NPO 法人みよしサポート協会ぴあぞら 理事長 天野 雄二氏

自己紹介

自分の性格は小学校からおとなしく目立たない存在であった。中学・高校に進んだがそこでもいじめにあい、不登校・中退した。バイトをしたがいじめっ子との関係が切れず、関係を切るために自ら引きこもる。焦りから大検の予備校に通うがそこでもいじめにあう。下宿していたが生活はめちゃくちゃで親が家に連れて帰る。家に帰って本格的に引きこもる。昼夜逆転、ゲーム漬の生活。親への暴言・暴力、ガラスを割ったりして精神科に通院。自分は精神病院への入院は絶対避けたかったので少し自分で抑えた。その後、大検をとり通信制の大学に通う、そこで、徳島大学の境先生に出会い、フリースクールで修業し、色々なアドバイスをいただき、現在はひきこもり支援のぴあぞらの理事長をしている。

NPO 法人 みよしサポート協会ぴあぞらの活動概要

平成 21 年 6 月設立

法人化は平成 27 年 7 月 正会員数 17 名（平成 29 年 3 月）

## 特徴

- ① スタッフも過去に不登校・ひきこもり・ニートといった経験がありピアサポーターとしてかかわりを持つ。
- ② 当事者だけでなく、その家族も支援することが必要不可欠。
- ③ 地域のネットワークを活かし、当事者・家族をサポートする。Dr、心理士、SW、保健師など
- ④ 社会への橋渡し（家⇒ぴあぞら⇒他の支援機関⇒就労・自立）

## 具体的な支援活動

三好市・東みよし町ひきこもり相談支援事業

ワークサポートやまなみ受託

三好市対象

毎週水曜日 9：00～12：00 よらん de やまき

東みよし町対象

毎週月曜日 13：30～16：30 ワークサポートやまなみ

平成28年度実績 相談者 15名 相談延べ人数 129件

三好市ひきこもりサポーター派遣事業

NPO法人みよしサポート協会ぴあぞら実施

平成28年度実績 6名 延べ件数 20件

- 当事者に合うことが難しいケースは支援が難しい。
- 山間部では訪問に時間がかかる。
- 相談員の技能・力量が問われる。

居場所 フリースペース すりーぴい（現在 当事者2名）

TV/ボードゲーム、カラオケ、軽めの運動

季節のイベント、高認勉強会、軽作業、他団体との交流

就労体験 よらん de やまき（現在登録者 21名）

アンテナショップ

毎週金曜日 10：00～16：00年間売り上げ70万円

三好市資源物管理業務（三好市より委託） 年間250万円

資源ごみの仕分け

日当3000円～3500円月3万～4万円

- 天野さんの支援活動は、相談事業、居場所、就労体験活動を無理なく有機的につなげている。特に、感心したのは、地域のネットワークを活かしながら専門的スタッフと連携

して対応している。三好市・東みよし町を合わせて人口 4 万人余の山間が主体の地域でこれだけの活動を展開しているのは大変素晴らしいと思った。

- これらの活動があまり無理なく、自然体で動いているように感じたのは、天野さん自身が元ひきこもり当事者であることことに起因しているものと思いました。地域に自然に溶け込んでいるように感じました。 (文責 泉 善法)

◎ グループ別話し合い

今回は、3 グループに分かれて講演内容の再確認や当面の家族の課題などを話し合った。

特に、講師の天野氏には、それぞれのグループを巡回していただき、参加者からの色々な質問にも丁寧にお答え頂いた。参加者からは、大変勉強になった、心から納得させられるものがあつたなどの声もありました。とても有意義なグループ別話し合いでした。

**【2017 年 6 月以降の各会等の予定  
(相談窓口・傾聴サロン)**

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております — 第 5 土曜日は全て休みです —	6	3、10 17、24	土	9:00~16:00	泉・川井ほか
	7	1、8 15、22	土	9:00~16:00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先: ☎ 087-802-2567 — 第 1・3 土曜日に行います —	6	3、17	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野
	7	1、15	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野

**(理事会・運営委員会等)**

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第 4 回運営委員会	6	17	土	13:30~16:30	
第 5 回運営委員会	7	15	土	13:30~16:30	
第 6 回運営委員会	8	19	土	13:30~16:30	
第 7 回運営委員会	9	16	土	13:30~16:30	

\* ポパイの会 (居場所活動) 予定は、別途印刷の同封パンフをご活用ください。

**・年会費支払のお願い・**

◎新年度（2017年）の会費 5,000円のお支払いを早期にお願いします。

- － 会の運営は、会員による会費がベースです。 諸活動が支障なく運営できるように是非、お早目に会費の支払をお願いします。 －

「年会費」、「ご寄付」とも下記の方法以外に月例会の受付で現金でも受取致します。

○ 年会費（寄付金含む）の送金方法 と 振込先口座等

\*昨年度から都合により、従来の 青色のゆうちょ銀行（郵便局）の「払込取扱票」による送金方法を取り止めているため、 ゆうちょ銀行（郵便局）窓口に備付の「電信払込請求書・電信振替請求書」によって下記の口座に送金していただく・・・方法①か、他の銀行から送金する方法・・・方法② のうち、いずれかの方法をお願いします。

【送金（振込）先口座番号】

【方法①、②により振込先口座番号が異なります】

- ① ゆうちょ銀行で現金またはご自分のゆうちょ銀行口座から振込の場合  
記号 16300 番号 11189231  
トクヒ) ケイエイチジェイカガワケンオリーブノカイ
- ② 銀他行より送金の場合  
ゆうちょ銀行 店名六三八（ろくさんはち）  
【店番】 6 3 8 【預金種目】 普通預金 【口座番号】 1 1 1 8 9 2 3

以上